

2022年
(令和4年)

2月22日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日

毎月3回発行
(第1,第2,第3次曜日)

今号の特集

- ▷飲料特集 ④~⑤面
- ▷即席麺特集 ⑥~⑦面
- ▷パン周り商品特集 ⑧~⑨面
- ▷21年歳暮贈答品動向 ⑩面

中部飲食料新聞社ホームページ
<http://chuin.net/>【業界情報発信中】



第3430号
発行所
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9
電話(052)571-7116代表
FAX(052)571-7118

東京支局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話(03)5614-7531
FAX(03)5614-7532

中部飲食料新聞

愛知県酒類卸 21年販売数量

前年比8.4%減着地

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和3年の愛知県酒類卸販売数量(大卸実績)は8.4%減と前年を割り込んだ。そのうちビール類は8.4%減と前年を割り込んだ。ビール類以外の酒類は26万5253kL、前年比7.9%減、万4880kL、8.7%減となり両カテゴリとも前年を下回った。コロナ禍2年目も引き続き緊急事態宣言や蔓延防止措置の影響で、業自粛や短縮営業、巣ごもり化が継続し家庭用商材は需要を確保したもの

愛知県の酒類卸販売数量

(単位:kL、前年比%)

区分	12月 数量	1~12月 数量	前年比
清酒	5,522	99,8	94,4
合成清酒	194	102,5	89,9
連續式蒸留焼酎	2,389	98,0	92,8
單式蒸留焼酎	3,554	96,6	94,9
みりん	1,089	105,9	104,3
一郎	22,493	115,9	104,3
果実酒	2,020	95,1	87,1
甘味実酒	50	47,0	49,7
ウイスキー	1,388	104,5	89,1
ブランデー	36	94,4	94,1
原料用アルコール	1	—	—
泡酒	5,846	102,2	86,5
その他の醸造酒	3,480	85,9	79,7
内発泡性を有するもの	3,387	86,4	79,0
スピリット類	10,517	100,9	98,2
内発泡性を有するもの	10,024	101,1	97,9
リキニール類	20,980	101,6	224,675
内発泡性を有するもの	19,496	101,8	210,574
雑酒	2	90,1	93,5
合計	7,567	103,7	91,6
ビール・発泡酒・その他醸造酒	31,821	109,0	265,253
ビール類除く酒類	47,745	100,5	91,3
アサヒビール(内)	464,880	464,880	91,3

従事したのは医薬用アミド専務で過ごしてきました。主に以前は味の素社に在籍し、通算27年間を海外勤務で過ごしました。主に開催の株主総会終結を持つて退任する。現代の取組みを実行し、第六役務執行役員が4月1日付で就任する。現代の取組みを実行し、第六役務執行役員が4月1日付で就任する。现代の取組みを実行し、第六役務執行役員が4月1日付で就任する。

J-オイルミルズの代表取締役社長執行役員に、佐藤達也氏(現取締役)が4月1日付で就任する。現代の取組みを実行し、第六役務執行役員が4月1日付で就任する。现代の取組みを実行し、第六役務執行役員が4月1日付で就任する。

J-オイルミルズの代表取締役社長執行役員に、佐藤達也氏(現取締役)が4月1日付で就任する。

自然のおいしさ!!

ユジマ ジャム

小島食品製造株式会社
本社 東海市名和町一番町25
電話 (052)603-3511



アサヒビール(内)
の太陽光発電施設を導入
名古屋工場にPPAモデル
の太陽光発電設備を導入
アサヒビールはCO₂排出量削減の一環として、再生可能エネルギーの活用を推進するため、3月から名古屋工場(名古屋市守山区)に「PPAモデル」による太陽光発電施設を導入、CO₂排出量を年間約287t削減する。

力は549kW。PPAモデルはPower Purchase Agreement(=発電販売契約)の略。PPA事業者が事業者の敷地内に太陽光発電設備を無償で設置。発電した電力を事業者が購入するビジネスモデル。同モデルの採用で事業者側は設備に維持・管理の負担が少な

いというメリットがある。同社は博多工場と茨城工場内に太陽光発電設備を設置しており、PPAモデルの導入は国内のアサヒグループで初めて。直近の12月は7万9500kWh。PPAモデルはスピーツヤリキューなど家庭用商材は需要を確保したもの

の好調で前年を上回った

が、21年はみりんが4.3%

増となっただけで、ほと

んどのカテゴリーが前年

が見られたことは復調へ

が期待を抱かせる。

が、22.2%増となつたことでビ

ル類計は9.9%増と2ケ

月連続の前年超えとなつ

た。またビール類以外

でもスピーツヤリキュー

、ウイスキーなどが

売れたとなる非常に厳しい

状況であった。そのなか

で、秋以降で部分的なな

料飲店の営業再開など

が見られたこと

は復調へ

が見られたこと

が見られたこと